

# 愛媛の人・地域とつながります

東京と愛媛の窓口で、えひめ移住コンシェルジュがお待ちしております。愛媛暮らしの魅力を熱く語ります。

## コンシェルジュに会える 愛媛ふるさと暮らし応援センター



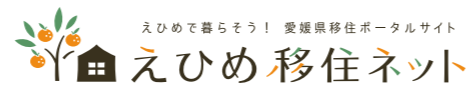
東京窓口／松原香織  
TEL：080-7749-3244  
Mail：ehime@furusatokaiki.net  
東京都千代田区有楽町2-10-1  
東京交通会館8階  
(NPO法人ふるさと回帰支援センター内)  
電話が繋がらない場合は、  
ふるさと回帰支援センター  
(TEL：03-6273-4401)まで  
ご連絡ください。



愛媛窓口／板垣義男  
TEL：089-922-4110  
愛媛県松山市宮西1-5-19  
(愛媛県商工会連合会館3階  
えひめ地域政策研究センター内)

愛媛県は、海や島、山、まちが近く、様々な環境に合ったライフスタイルが実現できる場所。みなさんにとってのほっと息抜きできる場所がきっと見つかるはず。

えひめ移住コンシェルジュが常駐していますので、えひめのことを詳しく聞いてみたい方は、お気軽にご相談ください。漠然としたお話も大歓迎です！お仕事、住まい、生活環境など移住前に気になることはもちろん、移住後もご相談いただけます。メールやお電話など、ご都合の良い方法でご連絡ください。オンラインでの対面相談も行っています。

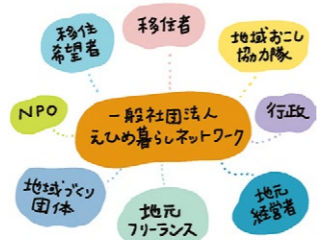


## 愛媛在住のメンバーがサポート

### 一般社団法人 えひめ暮らしネットワーク



2020年に設立された(一社)えひめ暮らしネットワークは、えひめ移住コンシェルジュ・地域おこし協力隊が中心となり、『愛媛で自分らしく暮らし働く』をコンセプトとする、ネットワーク組織です。登録しているネットワーク会員は、現役地域おこし協力隊のみならず、地域おこし協力隊OB・OG、県外からの移住者、地元経営者やフリーランスなど様々。私たちはこのネットワーク会員をつなぎ合わせ、会員メンバーそれぞれの活動を支援しています。



事業内容  
①愛媛県の移住相談窓口での相談対応を中心とした愛媛県全域の移住促進に関する企画運営  
②愛媛県内の地域おこし協力隊を対象にした、普段の活動での悩みなどに対応する相談デスクや研修会の企画運営などによる定住支援  
③補助金、セミナー等の情報提供、ネットワークを駆使した人材マッチング、コワーキングスペース運営などの起業支援

一般社団法人 えひめ暮らしネットワーク  
愛媛県松山市宮西1-5-19 愛媛県商工会連合会館3階



2021年3月発行  
発行：愛媛ふるさと暮らし応援センター 東京窓口 制作：一般社団法人 えひめ暮らしネットワーク 撮影：徳丸哲也、重岡真美 執筆：ハタノエリ、新居田真美 デザイン：青山優歩 (ゆるやか文庫)  
※掲載データは2021年3月現在のものです。情報の内容は変更される場合があります。  
本誌記事、写真の無断複製、及び転載を禁じます。

# まちに暮らす、あの人たちの息ぬき

仕事もしくは所属している活動で、楽しそうな人たちの息ぬきをご紹介します。

楽しみを自分で見出す人たちの息の抜き方とは。

- データの見方
- ① お仕事
  - ② 愛媛在住歴
  - ③ 活動していること、活動の場
  - ④ 私の息抜き



山口信夫さん  
① 大学教員  
② 8年(通算11年)  
③ 愛媛大学社会共創学部でフィールド教育と地域商業研究を実践しています。  
④ 登山ですが、もはや仕事(フィールドワークや研究)それ自体が息抜きに近いです。



板東ゆかりさん  
① まちづくりディレクター  
② 移住してもうすぐ3年  
③ 松山アーバンデザインセンター  
④ 季節の花を砥部焼の器に生けて、部屋に飾ってニマニマすること。



牧賢一郎さん  
① 会社員。  
奥さんのお店「めしSAKE珈琲(takamoto\_bldg)」のレコード収集と珈琲焙煎。  
② 2013年4月大阪からの移住。8年目に。  
③ Diggin' in the city(都市を掘る)  
④ 散歩ではなく都市を掘る。中古レコード屋、古本・古着・古道具屋を掘る活動からいつしか、都市を掘る。時に読書しながらも、徘徊ではなく、都市を掘る活動をしています。



白石卓央さん  
① 建築の設計  
② Uターンして8年  
③ 建築設計のかたわら、地元松山の建築やまちの魅力伝える活動を行っています。  
④ 温泉・銭湯



青砥穂高さん  
① 公務員  
② もうすぐ5年  
③ BAMATSUKAI(仮)、今治ホホホ座、覚醒チンドンネットワークなど  
④ 友人たちとチンドン屋をやります。写真は一昨年のクリスマスに道後商店街を賑わした時のものです。



竹内仁美さん  
① 団体職員  
② Uターンして7年  
③ 本にまつわるイベントの企画運営(松山ブックマルシェ、滑川BOOK CAMPなど)  
④ 自転車に乗って近所を探検すること。



新居田真美さん  
① フリーの編集者  
② Uターンして8年  
③ Noto Aburi Project(国産の七輪と炭の魅力伝える)  
④ 炭火を熾して、愛媛のうまいものを七輪でじわじわ食べて食べる。



竹野はるかさん  
① 会社員  
② 5年目  
③ 大人の児童書目録(実はけっこう深く考えさせられる「児童書」レビュー記事作成)  
④ 子どもの時に読んでいた絵本や児童書を再読して、大人になって忘れつつある「童心」を取り戻す。いくつになっても「遊び心」って大事。